



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.41

2023年 夏号

第21回通常総会挨拶

会長 影山 隆雄



2020年から猛威を振るっておりました新型コロナウイルス感染症は、法律上も第5類移行が可能になり、3年ぶりでこのように一堂に会することが出来ましたことを皆様と共に心からお慶び申し上げます。

国内では新型コロナウイルス感染症を3年ぶりに乗り越えたことによって社会経済活動の正常化が期待されるものの、世界的な金融引締めによる世界経済の下振れリスクに加え、エネルギーや原材料価格の高騰、物価の上昇等、依然として不透明な状況が続くと思われます。

当法人は、これら社会情勢の影響を受けながらも、その設立目的である「中小企業支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」をスローガンに関係機関のご支援のもと種々の困難を乗り越えて活動を進めています。

今年度は、昨年度から受託しました北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援をはじめ、インターンシップのコーディネート事業は、若い人材の地元企業への就職率向上に寄与する重要な業務ですので、コーディネーターを増やして受入企業の登録支援を進めます。

ビジネスマッチングを支援している展示会「課題解決EXPO2023」が7月上旬に開催される予定であり、デジタルトランスフォーメーション(DX)による生産性向上に関連する展示内容が多くなっていますので、コーディネーターのDX研修を含めて準備を進めています。

また、エコアクション21地域事務局は「環境未来」として4年目となりますが、中小企業にとって脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)実現に認証登録が重要であることをご理解いただき事業者拡大に力を注ぐ計画ですので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

Topics 1. 2023年度 北九州テクノサポート通常総会開催

第21回通常総会は6月9日(木)に小倉リーセントホテル2F玄海の間で開催した。会長挨拶の後、事務局より定款に則った総会成立の報告がなされ、指名された議長(影山会長)により議事が進められ、次の3議案(含む、収支決算及びその監査報告並びに収支予算案)の報告がなされた後、正会員による採決が行われ、可決された。また、本総会に引き続き、創立20周年を記念して産官学から来賓のご参加を得て、式典(会長挨拶、来賓ご祝辞、功労者表彰)並びに二つの記念講演会が実施された。

◇ 2022年度事業報告(事業総括) ◇

2022年度の世界経済は、ロシアがウクライナに侵攻して以降、世界の分断が供給制約を深め、食品やエネルギーなどの高騰に拍車がかかり、各国・地域の中銀がインフレ退治でこぞって急ピッチの利上げに動いた結果、世界的な情勢不安が増大した。この不安に対する切迫感が脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)とデジタルトランスフォーメーション(DX)を加速することにつながった。九州経済に関しては、半導体製造の世界最大手である台湾積層回路製造(TSMC)がソーニグループなどと組んで熊本県に建設中の新工場が2024年末に稼働する予定を受けて、半導体製造の関連設備などを手掛ける企業が相次ぎ九州への新規進出や事業拡大を打ち出し、「シリコンアイランド」復活に向けて九州の企業や金融機関の動きが活発化した。

当法人の2022年度の活動を振り返ってみると、EA21の地域事務局「環境未来」は中小企業へのGX実現に向けて地道な活動を進めているが、全国的に認証登録企業が減少傾向にあり、根本的な課題を抱えている。北九州市はGXに向けた洋上風力発電を製鉄と自動車に次ぐ第3の産業に育成することを目指して産業集積と基盤整備を図っているが、当法人は2022年7月から北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援を担うことになった。他の活動はコロナ禍で制約を受けたが、ウイズコロナの流れから、インターンシップ受入企業の登録は、前年度比で若干の増加に転じると共に、ビジネスマッチング事業は、従来の製造技術イノベーション展と中小企業テクノフェアに加えて地方都市としては初めてのDX推進フェアが同時開催され、入場者数がコロナ前の半数まで回復した。

KTSは、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT活用支援グループが整備したオンライン会議ツールTeamsなどを駆使しながら、第4次産業革命の勉強会やKTSの会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、活動を展開した。

◇ 2023年度事業計画(基本方針) ◇

2023年度は、国内では新型コロナウイルス感染症の第5類への引き下げにともなって社会経済活動の正常化が期待されるものの、世界的な金融引締めによる世界経済の下振れリスクに加え、エネルギーや原材料価格の高騰、物価の上昇等、依然として不透明な状況が続くと思われる。その中で中小企業の経営者には、自らが置かれた経営環境や抱える課題を見極め、様々な支援制度も活用しながら、収益力を高めしていくことが求められ、従業員には成長性のある産業への転職がしやすくなるよう、経験のない業務に必要なスキルを身に着けるいわゆるリスキングがますます重要になる。

当法人は、これら社会情勢の影響を受けながらも、Microsoft 365 Businessによりリモートワーク環境での情報共有を実施しており、本年度は繰り返し事務作業についてPythonを活用した自動化に取組み業務効率向上を進めます。また、受託事業については、①昨年度から受託した北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援をはじめ、②インターンシップのコーディネート事業は、コーディネーターを増やして受入企業の登録支援を進める。③ビジネスマッチングを支援している展示会は、製造技術イノベーション展と中小企業テクノフェアにDX推進フェアを加えた「課題解決EXPO2023」が7月上旬に同時開催される予定であり、コーディネーターのDX研修を含めて準備を進めている。④エコアクション21地域事務局は「環境未来」として4年目となるが、中小企業にとって脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)実現に認証登録が重要であることをご理解いただき事業者拡大に力を注ぐ計画である。

その対応方針は、支援を必要とする企業をこまめに探し、その課題解決にグループ横断で協力して対応し、その企業の成長を支援し、地域の一層の発展に貢献することを目指す。組織的には定年年齢の引き上げに伴って高齢化が進んでいるが、企業OBとして豊富な経験・知識・人脈を持ち活動意欲のある人材を仲間に呼び込み、その力を活かして地域の他の組織と連携や協業を進め、実働部隊・つなぎ役として地域産業を下支えする活動を促進する計画である。



第21回通常総会(2023.6.9) 於 小倉リーセントホテル

◇ 役員改選 ◇

定款に則った任期満了に伴う役員改選を行い、理事候補計14名(再任10、新任4)、監事候補2名(新任1、再任1)並びに退任理事1名、退任監事1名が紹介され、了承・可決された。

<< 役員及び組織 >>

改選された役員より、2023年7月度理事会(7/1開催)において会長以下三役の選出、並びに各支援グループ(Gr.)長及び副Gr.長が選出された。

会長	影山 隆雄
副会長	吉田 剛、古谷 長蔵
事務局長	徳永 昌哉
理事(注)	日下 尚司(*), 重田 千明(*), 末松 正典(*), 関屋 建三, 手島 邦彦, 西 哲郎, 林 慶三郎, 堀 昭三(*), 松本 昭喜, 渡邊 朝子
	(注)三役(会長・副会長・事務局長)理事は、同上理事欄から省略
監事	小林 敏郎、吉開 悟(*)

以上、理事及び監事欄の(*)は新任、その他は再任

各支援Gr.長

- ・技術経営ものづくり支援Gr. 吉田 剛
- ・産学官連携人材育成支援Gr. 影山 隆雄
- ・環境・省エネ支援Gr. 吉田 剛
- ・ISO・EA21支援Gr. 古谷 長蔵
- ・IT活用支援Gr. 堀 昭三
- ・販路開拓ビジネス支援Gr. 重田 千明
- ・広報・デザイン支援Gr. 林 慶三郎

エコアクション21地域事務局

環境未来責任者 手島 邦彦

北九州市長 武内 和久



平成15年にNPO法人北九州テクノサポートとして設立以来、今年で20周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

北九州テクノサポートの皆様には、豊富な経験と知識、技術を活かし、日頃より地域企業への支援、企業間のビジネスマッチングなど、本市の産業振興に多大なるご貢献をいただいております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

ます。

さて、北九州市は今年、市制60周年を迎えますが、「挑戦者を応援する熱気のあるまち」、「若い人が自分の力を試せるまち」を目指し、皆様と一緒に、まちをバージョンアップして、イノベーションを起こしていきたいと考えております。

3年以上にわたる新型コロナウイルス感染症を乗り越え、今まさに経済再生の入口に立っています。一方でウクライナ情勢や資材価格の高騰など、社会情勢は予断を許さない状況です。

こうしたなかで、本市においては、地域経済の更なる発展と活性化を進め、「稼げる街」への転換を目指しております。人材育成やDX等による生産性向上を通じた競争力強化、販路拡大支援など中小企業が持つ「ものづくり」の技術とデジタルの融合による新たな価値の創造に向けて、会員の皆様と共に取り組んでまいりたいと考えております。

北九州市には特に「ものづくり」や「環境」の分野で、世界に誇るべき素晴らしい技術を有する多くの企業と技術の蓄積があります。会員の皆様が培ってこられた素晴らしい技術や技能を、地域の新たなイノベーションの起爆剤として今後とも還元いただきたいと思います。

北九州市の「人の力」、「場の力」、「企業の力」という底力を引き出し、経済成長の好循環を生み出すために、引き続き貴法人のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、NPO法人北九州テクノサポートの更なるご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

公益財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央



特定非営利活動法人北九州テクノサポートが、創立20周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

北九州学術研究都市と相前後して発足された貴会は、前身のT・S会の頃から、地域企業の支援、産学官連携のコーディネートや人材育成などの数多くの分野の活動を継続され、北九州地域の産業の振興や創成に多大な貢献をなされてきました。このような活動を先導された歴代会長をはじめとする役員の皆様、豊富な知識やノウハウを生かして献身的な活動を続けてこられた会員の皆様に、感謝とともに深く敬意を表します。

ものづくり産業を核にして発展してきた北九州市と周辺地域は、大きな岐路に立っています。少子化による人手不足に直面しながらも諸外国に比べて生産性の低いわが国にとって、デジタルトランスフォーメーション(DX)はすべての産業分野の生命線ともいえます。北九州産業学術推進機構は北九州市と

連携して、昨年4月にロボット・DX 推進センターを創設し、地域の企業の生産性向上に資する活動を続けています。このような活動が、地域の産業界に浸透するためには、貴会のご協力が不可欠です。デジタル人材の大幅な拡充やDX 導入による生産性向上を実現するため、これからもご協力下さいますようお願いいたします。

さらに北九州市や県、国が様々な助成事業を提供しているグリーントランスフォーメーション(GX)も重要です。公害を産官学民で克服し、オイルショックを省エネルギー、節水、省資源等で乗り越えた環境先進地域の北九州市には、GX を率先して取り組める土壌があります。この分野に豊富な知見をお持ちの貴会のご協力により、わが国を先導する取り組みを実施し、企業価値の高い産業界の育成を目指したいと考えています。

さらにAIなどの先端技術の効果的な導入などを含めて、貴会が地域産業や人材育成に貢献され、発展されることを祈念いたします。

国立大学法人 九州工業大学 学長 三谷 康範



NPO法人北九州テクノサポート設立20周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。

北九州テクノサポートは工業都市北九州における高度な技術を有するシニア産業人材の力を活用して産業界の発展を目指したもので、発足当時から時代を先取りした取り組みとなっており、関係の皆様のご努力によりこの20年間の活動を継続されたことに深く敬意を表します。

この20年で世の中の産業構造は大きく変化しました。東日本大震災やコロナ禍の蔓延など予見が難しい事象や世界の分断の拡大、それに伴うエネルギー・資源・食料品価格の高騰、急激な円安の進展など、世界情勢に大きく左右された産業界の構造変化は、日本社会にとって試練の連続であったと思います。こうした中でも、北九州市は多くの100年企業を抱え、110余年にわたり地域に根付く九州工業大学は産業界と強い連携を持ち続けてきました。厳しい環境下でこそ、大学と産業界、自治体をつなぐ人材の役割が

ますます重要になってきています。

北九州テクノサポートの皆様方には、産業界との連携の仲介をいただくと共に、大学の研究戦略を支える人材であるURA(University Research Administrator)の配置を増進する活動の黎明期に参画いただき、今日の体制づくりの基盤形成を担っていただきました。また、URAを含む産学連携の人材を動かすための仕組みづくりにもご貢献いただき、急進した九州工業大学の産学連携体制の礎を一緒に築いていただきました。

産学・学術界における日本の国際競争力の低下が叫ばれる中、大学の研究力の高度化において産業界、自治体、金融界等との多様な連携がますます重要になってきています。それと共に産業界の人材育成においても、大学と産業界が一緒に取り組むことの必要性をあらためて感じています。

こうした激動の社会情勢の変化に柔軟に対応して、地域の発展に北九州テクノサポートの皆様が強く関与されてきた北九州を基点に地域がますます発展しますことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.1~2)



TAIKO
refractories CO., LTD.
大光炉材株式会社

〒804-0054
北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631 FAX: 093-883-2151



総合福祉機器メーカーのリーディングカンパニーとして、
安心と快適を届ける技術で、お客様の生きる喜びを創造します。



本社における頸椎装具等の医療機器適用

義肢・装具・車いす・福祉用具／リハビリ機器

株式会社 有蘭製作所
代表取締役 有蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL 093-661-1010 FAX 093-661-1670
URL <http://www.arizono.co.jp>

大光炉材株式会社 代表取締役社長 小林 聡子



貴法人におかれましては、令和5年4月に創立20周年を迎えられますこと、心からお祝い申し上げます。

平成15年の設立以来 経験豊かな高度技術を有する貴重な人材(OB)を活かされ、産官学民や弊社を始め地元北九州の多くの中小企業の技術的な支えとして確固たる地位を築き、地域経済に多大に貢献しておられる特定非営利活動法人北九州テクノサポート様に、改めて敬意を表

する次第です。

貴法人とのご縁は、現KTSの前身であるT・S会(テクノサポート会の略称)の時代まで遡ります。当時は、弊社ファインセラミックス部門が産学連携で熱電変換材料や応力発光材料、米ぬかを利用した摺動材等の製品化を目指しており、市場開拓や製品開発についてのアドバイスを始め、ユーザーのご紹介など、T・S会の鈴木久夫様に細やかなるご指導を頂戴致しました。また、環境プログラム“エコアクション21”認証取得の際は、導入から取得まで新日化出身

の江畑様、TOTO出身の小川様に、九州工業大学長期インターンシッププログラム導入の際は新日本製鉄(現日本製鉄)出身の小林敏郎様のご指導を頂き、大変お世話になりました。また現在に至って、ビジネスにおける良きパートナーとして、お付き合い頂いております。

広い見識と深い造詣を持ち合わせる技術者集団の豊かな経験値や、世の中の変化に対する鋭い洞察力は、IT化の急速な進展や、ロボット化やDX化といった変化の激しい生産環境において、北九州の中小企業が新たな歴史を創り上げる大きな力になると確信いたします。

弊社の主要事業である不定形耐火物製造部門は、令和5年より生産を自動化した工場を北九州市若松区に建設する予定ですので、ぜひお力添えを頂ければと考えております。

末筆ではございますが、長年のご指導、ご助言に深謝するとともに、貴法人の今後ますますのご繁栄とさらなる飛躍を心より祈念申し上げ、創立20周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

九州鉄道機器製造株式会社 代表取締役社長 大野 浩司



北九州テクノサポート様の創立20周年 誠にめでとございます。

設立より関わってこられました会員の皆様のご努力と、北九州の企業への数多くのサポート実績に心より敬意を表するとともに、今後ますますのご発展を心よりお祈りいたします。

我々の様な地場の中小企業が抱える技術的課題に対し、各分野の経験豊富な技術者の方をご紹介頂き、その知見をもとに、有益なアドバイスを行って頂くと言う、北九州テクノサポート様の事業は、人材不足がいつそう深刻になり、技術人材の確保が難しくなる今後、我が社の様な中小企業にとって、ますます重要性が増してくると思っております。

私どもは門司において1921年から100年以上にわたり、鉄道用のポイント、レールとレールをつなぐ継目板、そしてトンネル支保工を製造しております。おかげさまで、歴史は長いのですが、その反面、クラシックな製造ラインが多く

残っております。既にメーカーも廃業しており、技術課題に対して社内だけで頭を悩ませ、なかなか解決できていませんでした。

そのようなタイミングで吉田様とご縁があり、サポートを受けることになりました。技術的なアドバイスだけでなく、その解決にたどり着くための手法を、わが社の社員に考えさせながら、育成も同時に行って頂き、解決をすることが出来ました。また、自社の次の課題を我々自身で見つけ出すためのサポートもしていただき、大変感謝しております。

北九州の中小企業の中には、わが社と同じように悩んでいる会社は他にもあると思います。どこに解決の手助けを求めれば良いかわからない、自社の課題が不明瞭な企業もあるのではないのでしょうか。そういった企業に対し北九州テクノサポート様が果たされる役割は大変大きく、一層、必要とされるようになると思います。

結びに、会員の皆様が今後もお元気で活躍されると共に、北九州テクノサポート様の益々のご発展をお祈りし、記念の祝辞とさせていただきます。

KTS創立20周年記念行事の一環として功労者表彰が行われました。

表彰に先立ち表彰基準及び手続要領案が2023年3月度理事会の審議・可決され、それに則った推薦書が提出され、2023年4月度及び5月度理事会審議・承認を経ました。

表彰は6月9日記念式典でのご来賓祝辞を頂いた後、影山会長より、3名の方への「功労者表彰状の授与」並びに「記念品の贈呈」が行われました。



小川 勝 様

主な履歴 ・2003年 NPO-KTS誕生時から会員
・2007年7月～2011年6月まで二代会長として4年間
表彰功績 エコアクション21地域事務局の立ち上げとその後の後進育成を通じて組織の発展に多大な貢献



秦 吉昭 様

主な履歴 ・2003年 NPO-KTSを立ち上げ、初代会長就任
・会長任期 2003年4月～2007年6月
表彰功績 北九州テクノサポートの設立とその後の基盤整備に多大な貢献



石川 浩 様

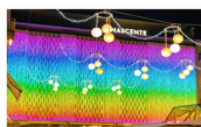
主な履歴 ・2003年 NPO-KTS誕生時から会員
・2012年9月～2017年6月まで四代会長として5年間
表彰功績 IT活用による自動車部品リードタイムの短縮と熟練技術者養成を目指す研究会をリードし第一回ものづくり連携大賞特別賞を受賞

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.3～4)

脱炭素！CO2低減
はLED照明



3Dマッピング
LEDイルミネーション



検査照明に最適
有機EL照明



KOSEI JAPAN

限りある資源を未来に 地球環境に貢献！



エコアクション21
認証番号0008225

株式会社コーセイジャパン

〒800-0315 福岡県京都町海町8-11
TEL 093-436-6136 FAX 093-436-6141
<https://www.kosei-japan.com>



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<https://www.chigusa.co.jp>

演題:「九州経済の新たな挑戦に向けて」

講演者:九州経済産業局
地域経済部長 柴谷 昌宏 様



NPO法人北九州テクノサポートの20周年おめでとうございます。

経済産業審議会の経済産業政策新機軸部会において過去2年間にわたり議論した内容をまとめた中間報告が2023年5月にありましたので、本日は、それに基づきお話しします。

1. 失われた30 年からの潮目の変化

1990年代以降の日本経済は、少子高齢化・人口減少という構造的な問題に加えて、成長投資の低迷により、潜在成長率が3%台から1%未満に低迷し、かつて世界1位であったIMD*世界競争力ランキングは今では34位(2022年)まで下落するなど国際競争力も低下し、「失われた30年」という状況が続いています。

この背景には、様々な要因があると考えられますが、一番大きな要因として、30年間の大企業の財務を見ると、売上が横ばいの中で、設備投資や人件費などの売上原価を切り詰めて売上総利益を確保してきたことが挙げられます。

一方、1990年代には日本の物価は高かったが、企業のコスト削減努力等もあり、日本は「安い国」に変貌、中国との価格差も20年間で縮小するなど、先進国の中ではコスト競争力がある状況になりつつあります。加えてエネルギー・食糧価格や賃金の上昇を背景とした世界的インフレ、先進国全体の高齢化、地政学リスクの拡大等によりマクロ環境の変化が生じています。このような背景を受け、米・国・EUを含む世界各国ではグリーン・デジタル分野等を中心にこれまでにない規模と形式の産業政策を展開する動きが見られています。我が国は、こうした潮目の変化を踏まえた上で「失われた30年」から決別する必要があります。

2. 経済産業政策の新機軸

日本の過去の政策対応に関する反省や海外での議論の状況を踏まえ、長期的に日本のあるべき姿を描き、バックキャストして必要となる政策対応を、経済産業政策の「新機軸」として検討を進めてきました。特に、不確実性が高まる中で、過去の構造改革アプローチでは、民間による成長投資が進まなかった点に鑑み、グリーントランスフォーメーション(GX)、デジタルトランスフォーメーション(DX)、健康、資源自立化、レジリエンス、バイオものづくりなど中長期の社会・経済課題の解決において政府が積極的に市場創造に関わり、リスクを負い、政府による大規模・長期・計画的な支援により「国内投資・イノベーション・所得向上」の好循環を生むアプローチで経済産業政策を見直しました。

3. 九州経済の新たな挑戦に向けて

この新機軸を受けて九州経済産業局が進める主な施策は次のとおりです。

グリーン成長推進パートナー:九州経済産業局は、九州の「経済と環境の好循環」を実現しようとする企業を登録し、ワンストップオンライン相談会、ワークショップ等、専門家集団による伴走支援を行うとともに、専用サイトを設けたパートナー企業の取組を広報します。

九州半導体人材育成等コンソーシアム：2022年3月に九州経済産業局が事務局となり九州7県・政令市、産業界、教育界等で構成するコンソーシアムを組成し、半導体人材の育成・確保や、サプライチェーンの強靱化を図ります。

J-Startup KYUSHU:九州で活躍するスタートアップ企業群から選定した企業に対して、ピッチイベントの提供や協業に向けた企業マッチングを実施するなど、地域経済の課題解決に向けてさらなる飛躍・成長をアシストします。

自動車産業「ミカタ」プロジェクト: 自動車関連企業電動化参入支援センターを立ち上げて電動化に向けた自動車部品サプライヤーの事業転換支援や業態転換の実現に向けて必要となる設備導入等を補助金で支援します。

取引適正化に向けた取組：企業間のしわ寄せ防止や、適正な価格転嫁の実現のため、下請代金法等の厳正な執行や、相談体制の構築、業界への働きかけで、取引の適正化を進めます。

事業再構築支援:新型コロナの影響に加え、物価高騰等により、事業環境が厳しさを増す中、中小企業等が行う、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応した大胆な事業再構築の取組を支援し、中小企業等の付加価値額向上や賃上げを促進します。

「**地域の人事部**」機能の普及拡大・強化：民間事業者等が複数の地域企業を束ね、地方自治体、金融機関等の地域の関係機関と連携しつつ、地域の企業群を一体として、将来の経営戦略実現を担う人材の確保・域内でのキャリアステップの構築等を行う総合的な取組を促進します。

* IMD:International Institute for Management Development (国際経営開発研究所)

(ご清聴ありがとうございました。)

演題:「シニアによる起業支援活動の日本経済への
インパクトと北九州テクノサポートへの期待」

講演者: (一社)日本シニア起業支援機構
代表理事 松井 武久 様



NPO法人北九州テクノサポートの20周年記念講演会にお招きいただき有難うございます。

本日は、シニアによる起業支援活動の日本経済へのインパクトとNPO法人北九州テクノサポートへの期待と題してお話します。

1. 日本の現状認識とリスクマネジメントの重要性

ご存知のように、社会を取り巻く環境変化がこれまでにない速さで変化し、国全体として環境変化への対応が遅れてしまいパブル期崩壊以降、低迷が続いています。何故、経済成長が停滞しているのか、うわべだけの議論で終わってしまい本質的な対策が打たれていないのが原因です。

これはリスクの捉え方が表面だけの議論になっており、本質まで遡った議論が行われず対応が遅れているためと考えます。リスクはマイナス面とプラス面の両面がありますが、日本ではマイナス面がリスクのように捉える考え方が当たり前のようになっています。リスクマネジメントの世界標準にISO31000があります。そのリスクの定義は目的(組織が求める望ましい姿)に対する不確かさの影響で、その評価は発生頻度と影響度の両面から評価する必要があります。その上で、組織が生き残りと発展を図るためには、過去の実験重視の発想から脱却し経営全般にわたり発生するリスクを鋭敏に感受し、その影響を正確に分析・評価して変化を先取りする対処法を行うことが不可欠です。

これまで国内需要に支えられてきた企業は国内需要の減少に加え、BRICsはじめアジアの成長、資源エネルギーの高騰及び枯渇、環境重視など企業を取巻く環境は厳しい状況になることが予想されます。このような経営環境では従来の事業に拘らず「新需要を創造する商品開発やコストと品質で差別化できる生産技術・知財の蓄積・持続社会への貢献」などが求められています。現代は経営リスクマネジメントの優劣が企業存亡を左右する時代といえます。

2. J-SCOREの設立と運営の特徴

2010年当時、バブル崩壊後の日本経済は低迷からの脱却が出来ていない状態でした。これを何とかしたいとの想いで、アメリカの団体組織Service Corps of Retired Executives (SCORE)の制度「米国民間団体で50年以上にわたり純粋なボランティア精神に基づき48州380以上の地域社会で活動している第一戦を退いた経営者・企業OBが生涯現役をモットーに、それまでの経験を活かしてベンチャーを支援することを目的とした団体」を取り入れることにしました。この団体は実務経験が豊富な産学官の出身者がその知恵と経験と人脈を最大限活かして設立前後の起業家を強力にサポートして「起業の早期成功と発展を促す」ことです。

我が国における組織は、2010年、元経済産業省所管の社団法人工業技術振興会の事業として出発しましたが、2015年の行革で政府所管の社団法人が解消されたのを機に「一般社団法人日本シニア起業支援機構The Japan Service Corps of Retired Executives (J-SCORE)」として再出発し現在に至ります。

その目的は、①シニアが年齢制限なく生涯現役として活躍する場の提供、②シニアの経験・知識・人脈を新規企業家と既存企業の支援に提供、③新規企業家が増え、既存企業の経営改善で日本経済が発展、④シニア自身が生涯現役として生き甲斐を持った人生を送るなどです。J-SCOREの目標は「世界平和と日本国民の幸福の構築」に置いています。

その活動は、講演会・セミナーの開催・ビジネスマッチング活動・新事業開発・SDGs推進未来農林事業開発研究会・総合リスクマネジメント研究会・海外支援活動など多岐に亘ります。遠隔地ですが、リモートでの参加も可能で貴法人のメンバー2名も参加いただいています。

3. NPO法人北九州テクノサポートへの期待と協力関係強化

創立20周年を機に行政とのパイプなど良いところを継続し、経験豊かなシニアの活躍を今一層促進する。その対象として、100年の視野であるべき姿を描き、北九州市(行政)との連携し、現状のギャップを基に課題抽出して世界に誇れる産業都市の復活の活性化を進める。また、鉄鋼・電機・化学・窯業など日本を代表する企業が立地しているこの地で連携した活動によりその後押しをする。また、大学はじめ高専など教育機関との連携のパイプ役などが上げられています。北九州出身の私も今後、連携しながら社会のより良き発展に向けて力を注ぎたいと願っています。今回の講演を機に、相互の連携を深めながら共に新しい社会の構築に力を注ぎましょう。

(ご清聴ありがとうございました。)

20周年記念講演は、2023.6.9 第21回通常総会(於 小倉リーセントホテル2F 玄海の間)に引き続いて開催され、本誌(KTS通信夏号Vol.41)では、ご講演の「要約版」を掲載し、別に発行する「KTS創立20周年記念誌」で詳細講演記事をあらためて掲載致します。

2022年度の主な活動及び各支援グループ活動実績

2022年度の主な活動	関係先
北九州地域産業人材育成事業(地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財)北九州活性化協議会
北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援	(公財)北九州活性化協議会
課題解決EXPO2022 ビジネスマッチング事業	(公財)北九州観光コンベンション協会
北九州商工会議所 アドバイザー活動の推進	北九州商工会議所
製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、公共・学術機関、賛助会員、協賛会員
「第4次産業革命」勉強会資料の英文化と講演	(公財)北九州国際技術協力協会
エコアクション21認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構 EA21中央事務局
会員相互情報交換会(オンライン)1回	NPO-KTS会員、地元企業
新型コロナ感染防止のため テレワーク推進	NPO-KTS会員、関係先
よろず相談 5件	地域の中小企業

■技術経営ものづくり支援Gr. (Gr.長: 吉田 剛)

①技術支援活動 ② 対外的な活動人材の育成とスキル情報の整備 ③補助金等を活用した技術力向上への支援 ④公的機関からの受託事業開拓

■産学官連携人材育成支援Gr. (Gr.長: 影山 隆雄)

①北九州地域連携型インターンシップに関する事業 ②サポイン事業評価業務 ③「SDGs勉強会」の開催④「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業

■環境・省エネ支援Gr. (Gr.長: 吉田 剛)

①販売支援活動 ②対外的なKTS人材の技術情報整備とPR ③補助金等を活用した技術力向上への支援 ④公的機関からの受託事業開拓

■ISO・EA21支援Gr. (Gr.長: 古谷 長蔵)

①各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化 ②EA21認証取得事業者数の拡大 ③ISO認証維持・新規取得支援④グループ会員の相互研鑽(審査・コンサルティング)技術の向上 ⑤「エコアクション21だより」の発刊

■IT活用支援Gr. (Gr.長: 正木 秀尚、2023年2月から堀 昭三に交代)

①NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立 ②中小企業のIT活用支援 ③「第4次産業革命」勉強会の開催 ④テレワーク環境構築による業務効率化とCO₂削減支援

■販路開拓ビジネス支援Gr. (Gr.長: 影山 隆雄)

①課題解決EXPO2022のビジネスマッチング(BM)支援事業 ②北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

■広報・デザイン支援Gr. (Gr.長: 林 慶三郎)

① KTS広報事業 ② 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援 ③KTS創立20周年記念誌発行

各支援Gr.の具体的な活動内容はKTSホームページに掲載されています。

NPO-KTS法人会員の広報コーナー(No.5~10)

「元気で住みやすいまちづくり」



KITAKYUSHU PROSPERITY ENRICHMENT COUNCIL

北九州活性化協議会

SEARCH

九州最大級の製造現場向け展示会!!

西日本製造技術イノベーション

中小企業テクノロジー in 九州

西日本製造 検索 中小企業テクノ 検索

小倉 西日本総合展示場 駅 5分

北九州観光コンベンション協会

北九州・小倉で創業して92年!



鉄道通信機器を主力とする通信機器メーカーです
(JR九州様 放送装置シェア94%※駅数換算)
設計(電気回路・ソフト・機構設計) ~ 製作 ~ メンテナンスまで自社で一貫して
行っており、設置環境に応じた最適な通信システムの提案を行っています

株式会社 **カンノ製作所**
http://kanno.co.jp

[本社] 〒802-0022 北九州市小倉北区上富野 1-5-25
TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470

九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町 2番 30号

取扱製品

分岐器・継目板・レール溶接工事
伸縮継目・九鉄式フックボルト
ケミカルアンカー・トンネル用H形支保工
鉄道車両部品・道路照明灯・タイプレート

産業用ロボット安全特別教育実施中!!




株式会社 ICS SAKABE

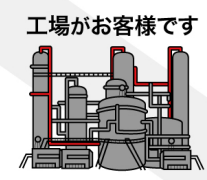
〒802-0061 福岡県北九州市小倉北区三郎丸1-12-17
TEL : 093-932-7480 FAX : 093-932-7481
URL : http://www.icssakabe.com

株式会社 新大倉

Engineering, Procurement and Construction

新大倉 検索

工場がお客様です



その工場の
Engineering 設計 Procurement 調達 Construction 工事
が仕事です

2023年度事業計画

■組織

活動組織は、リーダーの交代はあるが7支援グループ及びEA21地域事務局の体制とします。EA21地域事務局合併の効果をより高め、KTS内の結束を強化し、日々激変する社会情勢にあわせて事業内容を見直して、グループ再編を含めた活性化を進める。

■運営方針

本年度は、既存受託事業(北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援、産業人材育成フォーラム、ビジネスマッチング、EA21事業等)の新事態への適応力を関係機関と連携して確立する。次に、企業が置かれている困難な状況に公的施策と連携して地域企業への応援に力を入れ、収益力強化のため新たな技術開発やマーケット開拓に立ち上がる企業の支援を進める。

KTS事業を支える人材の入会促進と急速に変化する社会・経済環境に対応するための会員自身のリスクリング及び情報共有促進のため、遠隔会議システムを大いに活用した勉強会・研究会の充実と相互連絡会を開催し会員の力を結集する場や、ホームページ・広報誌の内容充実で情報を積極的に発信し、喫緊の社会ニーズに対応した体制を整え積極的に推進する。

■実施計画

1. 技術経営ものづくり支援 Gr.

- (1) 技術支援活動
- (2) KTS人材の技術スキル把握・レベルアップとPR
- (3) 補助金等を活用した技術力向上への支援
- (4) 公的機関からの仕事の受託促進



2. 産学官連携人材育成支援 Gr.

- (1) 北九州地域連携型インターンシップに関する事業
- (2) 「北九州市風力発電人材育成連絡会」の業務支援に関する事業
- (3) 「SDGs勉強会」の開催

3. 環境・省エネ支援 Gr.

- (1) 販売支援活動
- (2) KTS人材のスキル把握とPR
- (3) 省エネ関係補助金の情報収集と地場企業へのPR

4. ISO・EA21 支援 Gr.

- (1) 各支援Gr.の活動とEA21審査員との連携強化
- (2) EA21認証取得事業者数の拡大
- (3) ISO認証維持・新規取得支援
- (4) グループ会員の相互研鑽(審査・コンサルティング技術の向上)
- (5) 「エコアクション21だより(KTS通信瓦版)」の発行

5. IT活用支援 Gr.

- (1) NPO-KTSのホームページ改版と維持管理体制確立
- (2) 中小企業のIT活用支援
- (3) 「第4次産業革命」勉強会の開催
- (4) テレワーク環境構築による業務効率化とCO₂削減支援

6. 販路開拓ビジネス支援 Gr.

- (1) 課題解決EXPO2022のビジネスマッチング(BM)支援事業
- (2) 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

7. 広報・デザイン支援 Gr.

- (1) KTS広報事業
- (2) 中小企業の広報誌編集発行や広告デザイン支援
- (3) KTS創立20周年記念事業支援



KTS実施事業にご興味のある法人・個人様は、093-873-1453 又は info@npo-kts.org までどうぞ！

NPO-KTS法人会員様の広報コーナー(No.11~16)

北九州から全国へ
気象とものづくりで
企業の安全を支える

◎気象の総合コンサルティング
◎気象海象予測・予測情報提供
◎気象観測機器レンタル

気象庁予報業務許可第51号

ZEROSAI 羅金盤 PLUS
システム・メテオロロジ
〒802-0979
北九州市小倉南区徳力町2-8-11
TEL 093-965-1033
FAX 093-965-1055

国土交通省 NETIS登録商品

独自の技術力で豊かな未来を創造します。

株式会社 **測石研**

【総合気象観測】 【波浪調査:海底設置型波浪計】 【自社開発:潮位観測システム】

気象・海洋・河川調査解析/港湾・漁港・海岸のアセットマネジメント

北九州市戸畑区境川 2 丁目 4 番 5 号 TEL:093-883-1511
http://www.sokken.com

プラスチック金型 製品用 設計・製造

『品質:良い』『納期:早い』『価格:安い』

◆自動車部品
◆医療機器
◆光学機器
◆家電製品 ほか

西日本精機株式会社

〒808-0109 北九州市若松区南二島2丁目25-13
TEL:093-701-2395 FAX:093-701-2509
URL: https://www.nishinihonseiki.co.jp/

株式会社アンクル
UNCLE

地方自治体システム開発・販売/会計システム販売
その他システム開発/コンピュータ関連機器販売

本社 福岡県京都郡苅田町京町一丁目11番地5
開発センター 福岡県京都郡苅田町港町4番5号
TEL 093-436-5788 FAX 093-436-5789
熊本営業所 熊本市中央区水前寺公園28番36号
TEL 096-288-0035

URL http://www.e-uncle.co.jp/

会員募集 随時受付

★ 第一線をリタイアされた皆様 ★

あなたの経験や知識・技術、人脈を生かしませんか！

★ 北部九州、山口地域の企業様 ★

経営・技術等の御社課題を協働で解決しませんか！

NPO法人 北九州テクノサポート

TEL 093-873-1453
e-mail info@npo-kts.org

ガラスレンズ金型 (超硬合金製)

次世代移動通信技術
『5G』に使用されるレ
ンズを製造するには弊
社の『超精密加工技術』
が必要です。1/1000mm 以下

サブミクロシ形状精度

夢のあるものづくり
株式会社ワークス

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728

エコアクション21地域事務局環境未来 2022年度活動実績

1. エコアクション21(EA21)導入セミナー開催

福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラム、山口県関係企業グリーン化プログラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施した。

2. 自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム開催

認証・登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催した。(添付写真参照)



3. 認証・登録業務推進

登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、地域普及戦略会議を開催した。

4. 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催

認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催した。

5. エコアクション21審査員の力量向上研修会開催

広島県、山口県、福岡県、大分県、佐賀県のEA21審査員を対象に、「力量向上研修会」を開催した。

6. 永年継続認証・登録事業者に感謝状授与

永年エコアクション21に取り組んでこられた20事業者に対し、中央事務局からの感謝状を授与した。

7. 北九州市長感謝状授与制度の対象事業者の選考・上申

北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授与候補として選考の上、上申。【(株)光和精鉱、(株)北九樹脂製作所、(株)太陽インダストリー】の3社が感謝状を授与された。

エコアクション21地域事務局環境未来 2023年度事業計画

1. エコアクション21(EA21)導入セミナー開催

福岡県、北九州市自治体イニシアティブプログラム、山口県関係企業グリーン化プログラムの前段階として、エコアクション21の概要説明と取得事業者の活動事例発表を実施する。

2. 自治体イニシアティブプログラム、関係企業グリーン化プログラム、アクセラレーションプログラム開催

認証・登録取得希望事業者を対象に、EA21審査員が、集合講座を開催する。

3. 認証・登録業務推進

登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、地域普及戦略会議を開催する。

4. 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催

認証・登録事業者に対して、講演、事例発表、意見交換、相談会を開催する。

5. エコアクション21審査員の力量向上研修会開催

広島県、山口県、福岡県、大分県、佐賀県のEA21審査員を対象に、「力量向上研修会」を開催する。

6. 永年継続認証・登録事業者に感謝状授与

永年エコアクション21に取り組んでこられた事業者に対し、中央事務局からの感謝状を授与する。

7. 北九州市長感謝状授与制度の対象事業者の選考・上申

北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を北九州市長感謝状授与候補として選考の上、市へ上申する。

KTS通信版(エコアクション21たより)をご参照下さい。

NPO-KTS法人会員様の広報コーナー(No.17~22)

Matsushima
Matsushima Measure Tech

「現場の見える化」を実現する

電波式レベル計 ガストモニタ エアガストモニタ

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837
北九州市八幡西区松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735

お問い合わせは
コチラ

マツシマメジャテック 検索

ステンレス・アルミニウム・チタン

金属研磨で“価値”を与える会社

東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD.

〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL: 092-928-3733(代) FAX: 092-928-5430(代)
e-mail: info@toyo-kenma.co.jp
HP: https://www.toyo-kenma.co.jp/

POINT 01 安全・迅速 3D同時計測

トンネル点検車両

MIMM

POINT 02 ドローンによる目視検査(空撮)

30倍ズームカメラ
及び赤外線サーモカメラ搭載

MTRCE210RTK

POINT 03 高精度

POINT 04 直観的!!

計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL: 093-642-8231

環境づくりに心をこめて

株式会社 守恒造園建設

◆地域密着の循環システムの推進
◆社会貢献

事業品目
造園工事・環境事業・きのこファーム

(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号
TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL http://www.morizou.info/

ベストプランを
ご提案します!

三栄機工 株式会社
福岡県知事許可(般-16)第99106
http://www.sanei-kikou.com/

選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカバー

設計・施工・修理・メンテ

一般小荷物自動仕分け装置

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

フロアイト株式会社
PROLIGHT

水銀灯に代わる次世代照明

無電極ランプ **エコ太郎**

■無電極ランプ「エコ太郎」製造
■高天井・検品・検査照明
■スポーツ・体育館照明

MADE in JAPAN

明るいのにも
まぶしくない

省エネ 消費電力は水銀灯の1/3
長寿命 寿命はLEDの約1.5倍

Electroless Lamp
ECOTARO

公益財団法人 北九州活性化協議会

令和5年5月22日に影山理事が(公財)北九州活性化協議会(KPEC)を訪問。川原専務理事にお会いし、北九州地域産業人材育成フォーラム事業、小学校応援団事業等についてお聞きしました。

■(公財)の沿革と使命

当協議会は、北九州経済4団体(北九州商工会議所、西日本工業倶楽部、北九州青年会議所、北九州青年経営者会議)を母体に、企業や市民の賛同のもと、平成元年4月に財団法人に、平成22年3月には、福岡県移行第1号の公益財団法人として認可されました。

以来、産学官民の連携軸として、さまざまな人・組織が主体的に参加する北九州市の活性化のための中間管理機能(DO-TANK)としての機能を果たしています。

■今後の展開

北九州地域は、製鉄、セラミックス、メカトロ・ロボット、化学、半導体、自動車、情報、環境など各分野の大手企業が生産拠点を置き、その裾野に広がる高度な技術と人材は多様を極めます。しかし、この地域は産業の空洞化、若年人口減少、高齢化の進展などの課題に直面しています。この課題に向かってKPECは、中堅・中小企業の経営力強化のための産業人材育成を産学官連携で進めています。

北九州地域には高い技術力を持ち社会的に重要な事業を行っている中堅・中小企業が数多くありますが、その大半は生産財づくりを行っていることから、それらの企業の魅力や素晴らしさは一般には知られていません。そのことが若年層の県外流出の大きな要因であり、対策として北九州市内の大学・高専の学生が5日間以上の地域連携インターンシップを通じて地元企業を良く知る機会を提供すると共に、そのインターンシップにおいて課題解決プロセスを体験する高度人材育成プログラムや、次世代を担う子供たちの健全な育成を図る上で小学校時代の重要性を理解した地元企業の関係者が市立小学校への出前授業を推進しています。これらの事業は、平成23年から取り組んでいます。その成果として、地元企業で地域連携インターンシップを経験した学生の地元企業への就職率は、経験していない学生に比べて2倍以上の20%台の高いものになっています。

また一旦、首都圏や関西圏の企業に就職した学生が北九州地域へのU・Iターンを考えるにあたりその候補先として、地域連携インターンシップを経験した地元企業へ再就職を検討できるようにする支援を今年度から試行的に取り組みます。さらに、今年度から始めるもう一つの事業として地元中堅・中小企業経営者の皆様を対象に、創業理念の再認識をはじめ、自社の強みや魅力について改めて認識し、その魅力を生かした将来ビジョンを描き企業価値を高め、企業成長につなげていただく講座を開始しました。

そのほか、北九州地域の人を育み、人の心を豊かにする都市格(教育力、文化力)を一層高め、真に魅力あるまちづくりを進めることを目的とした「1000人の夢基金」事業に継続して取り組みます。

これらの活動を通じて北九州地域のより一層の活性化に取り組んで参ります。

■KTSへの期待

今後、デジタル化や脱炭素など、新しい変革への対応が必須要件ですが、産学連携のコーディネート、企業のコンサルティングなどのKTSの機能は非常に重要であり、志の高い専門技術者集団であるKTSの役割はますます大きくなってゆくと考えます。

◇法人概要

- 所在地: 北九州市小倉北区古船場町1-35 TEL:093-541-3122
- 会 長: 高城 いづみ ■設立: 1988年(昭和63年) 4月 ■職員数: 6名
- 事 業: 【環境・人材育成・都市格・イノベーション】の四つの方向性を基本軸に行政や他の団体では行いにくい社会貢献活動を推進することです。

URL: <http://www.kpec.or.jp>

三栄機工株式会社

令和5年5月26日に荒巻・林理事が同社本社工場を訪問。秋吉社長及び岩尾課長にお会いし、近況や今後の事業展開について伺い、搬送新設備等の見学をさせて頂きました。

■会社の沿革と業績

同社は、昭和53年に「三人で栄える」を誓って鉄工事業(砂利選別)を始め、昭和63年に有限会社、平成16年に株式会社とした。現社長が第二代社長に就任当時、経営は順風満帆とはいえず、歯をくいしばり、金融機関のお世話になり事業継続を進めた。

事業品目は選別機械の製作・販売に始まり、順次、分野を広げ、コンテナ、雨・防塵コンベヤカバー、各種搬送設備、木材チップ破砕等のリサイクル設備の製作や販売(メーカー商品取り扱い、自社設計製作)を手がけてきた。近年の売上比率はリサイクル設備7割、運送設備3割程度。一般小荷物搬送装置の九州物流拠点への設置で運送大手にお世話になっておりこれからは主力となる。工場は第1工場から始まり、第2、第3、そして第4工場と拡充を図り、第4工場には小荷物搬送・仕分け開発装置(デモ実機)を据付け、仕分け精度等のデータ収集・解析を行っている。

また、ご縁があり無電極ランプ製造・販売社の代理店になっている。

■今後の展開と課題

運送部門売上比率増には搬送・仕分け装置開発が急務だが、実績の積み上げのため装置の肝の部分に経営判断で他社部品を使っており、今後、自社開発を進めるが、重量問題、搬送効率化等、多くの課題がある。

また工場拡大での敷地上的課題もある。これらの課題解決のため、創業時からの合言葉「いつか、いつか、いつか」をバネに邁進してきたが、これからも次の目標、競合大手に伍する企業になることに向い全員が一丸となって進む、そのためにはまず従業員ファーストであるべきとの考えの実現の一例として健康診断の充実化を実践しており、昨今の企業サバイバル風潮の中で「従業員ありき」のよき日本企業の姿勢が伺えた。

取材後のデモ実機見学時の従業員様と社長との対話を垣間見て、従業員ファーストの姿勢を目の当たりにした。

プラント設計・製作・保守の高い技術を生かしベストプランを提供し、喜ばれる実績を積み上げ、ひいては広く社会に貢献していく企業として注目される。

■KTSへの期待

KTS窓口に大変お世話になっており、これからも窓口を通して、KTSに設備開発や事業再構築、また技術者育成面などの支援を頂きたい。

◇会社概要

- 所在地: 福岡県京都郡苅田町若久町3丁目22-5 TEL:093-434-2737
- 代表者: 代表取締役 秋吉 将吾 ■設立: 1988(昭和63年)年4月
- 資本金: 1,600万円 ■従業員数: 28名
- 事 業: 輸送機械及び搬送装置製作・据付、選別機械製作、リサイクルプラント設計・施工、雨・防塵カバー製作・販売、各種コンベヤ部品製作・販売、各種破砕機修理及び部品販売

URL: <http://www.sanei-kikou.com/>

会員動静 (2023.7.1現在)

正会員	賛助会員
69名	法人:14、個人:0

退任役員紹介
お疲れさまでした。 ◆退任理事: 正木 秀尚 ◆退任監事: 藤原 利久 (注)新年度役員は表紙page参照

新任理事紹介



日下 尚司 (くさか しょうじ)

TOTOで省力化設備の開発・導入、印刷回路板の生産技術・製造事業運営を担当。退職後、FAIS及びJUSTにて産学連携支援、補助金獲得支援等に従事。2018年KTSに入会。市内外の企業側から声がかかる団体になりたい。



末松 正典 (すえまつ まさのり)

九州大学工学部機械工学科修士課程卒業後、安川電機にて研究や技術開発に携わる。その後、科学技術振興機構での産学官共同開発支援、(株)IHI九州支社での営業技術活動に携わる。今後は、ISO審査等も活用した企業支援を行いたい。



重田 千明 (しげた ちあき)

住設機器分野でのプラスチック部品の開発製造、精密射出成形メーカーでのプラスチック関係のモノづくりや会社運営で得たものを生かして、ビジネスマッチング支援はじめ、地域の企業のお役に少しでも立てよう、努めてまいります。



堀 昭三 (ほり しょうぞう)

(株)YE DIGITALで組込みシステムの開発、品質保証、PMO、CSR推進などを担当してきました。企業様のものづくり技術支援やIT活用推進、また、KTS内のIT化推進等とその経験を活かしたいと思ひますのでよろしくお願い致します。

検索 北九州テクノサポート

<http://www.npo-kts.org/>

正会員・賛助会員の申し込み受け付け中

ホームページから申込用紙をダウンロードできます。



NPO法人 北九州テクノサポート
広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.41」

2023年7月1日 発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)

北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクセンタービル 806号

TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org